

# 白山愛児園

## わかば

### 第3号

発行 社会福祉法人川崎愛児園  
 児童養護施設白山愛児園  
 発行月 令和元年9月  
 住所 〒215-0014  
 神奈川県川崎市麻生区  
 白山1丁目1番5号  
 TEL:044(7)124071  
 FAX:044(7)124074  
 hakusan@lion.or.jp

## 法人の基本理念

当法人は命の尊厳を大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で、将来を担う子どもたちへ、目的高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

- 「命を大切にすること」
- 「地域の中で養育と子育て支援」
- 「健全な経営」

## 施設の基本方針

1. 一人ひとりが命を大切にすることを、心身共に健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。
2. 一人ひとりの心身の成長に努めます。
3. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します。
4. 一人ひとりの幸福のために支援します。
5. 自立した社会生活が営めるように支援します。
6. 施設の社会的、専門的役割を果たします。

## 養護目標

- 社会的養護を必要とする入所児童に対する基本目標は次の通りです。
- (1) あいさつを正しくできる人
  - (2) 健康な体と心をもてる人
  - (3) 人に好かれ、社会に役立つ人
  - (4) 感謝の気持ちをもてる人
  - (5) 人との調和がとれる人
  - (6) 思いやりのある人
  - (7) 基本的な生活や自立した生活ができる人



理事長  
野村 隆

「平均値にこだわらない」

地域の皆様、ボランティア団体の皆様、教育・行政の方々には白山愛児園への変わりぬ御支援・御協力をいたたき誠に有難うございます。

児童養護施設白山愛児園を拠点とする小規模児童養護施設 結を営めて2019年3月31日現在35人の児童が在園しています。

近時、児童をめぐれる事件が数々生じています。命を失ったことも道のご冥福をお祈り申し上げます。

白山愛児園は皆様の御支援のもと着信も達の養育に努めています。良い環境の地に良い隣人に恵まれ、子ども達が元気に過ごしていることに感謝申し上げます。

こどもの安全を守るために設備上の対応は更に進める所存ですが、愛児園のこともただでなく、こどもの安全は地域全体で見守っていただくことが重要であると感じています。このために

施設は地域の方々への協力を深めていきたいと思えます。さらなる御協力をお願いいたします。子ども達だけでなく、成人にも高齢者運動、老々介護、中高年引きこもり、特殊詐欺、不法薬物、ゲーム依存等危険は絶えず生じており、注意していてもお避けられないことが多く、まして天災のような現在は現在の科学水準では防ぎようがなく、避難情報を出して身の安全をはかってもうただけです。精一杯の準備をさせていただきます。

事件の背景に社会的弱者の課題がありますが所得格差の問題から人生100年時代といわれ、退職後に2000万円を生計資金が不足するこの金融庁報告が非公式に報道され、誤解もあって物議をかもしています。

平均収入から平均支出を差引いて不足額を計算し、年金だけで暮らす期間を乗じることで2000万円となる計算でマクロで判断する時、統計に頼って判断していますが、実際の生活は個々様です。

21万円の収入の世帯はその収入範囲でしが生活しなれていよう、支出26万円を出来る世帯は過去の蓄積（相続分もあるでしょう）かその他の収入があるという報告は、金融・証券業界の投資を促すのに加担しているように感じます。

この報告だけでなく経済、育児・介護、医療の判断には平均値、上下限値を基準に設定していることが多いのですが、平均値、上下限値からはずれても気づくことはなかり難しく感じます。

成長するために競争が必要であり摩擦が発展を促すことは私の持論です。しかし平均と比較し優越感・劣等感を持つことのない自分で考えられる力と知識を身につけて社会へ出てもらいたいと思います。

こども達はそれぞれ皆別人格を持って自分の命と他人の命を大切にしながら自分の命と他人の命を大切にしながらいたいと願っています。

これからも、白山愛児園に多大な御支援・御指導をいただきますようお願い申し上げます。



施設長  
霜倉 博文

開所六年目を迎えた今年度は、平成から令和へと改元されました。令和になつて最初の広報誌「わかば」を発行することができ、うれしく思います。

開所当初から、地域の皆様をはじめ多くの方々のご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。心よの感謝申し上げます。

徐々にはありますが、白山愛児園の存在も地域の中で認識されてきていますが、まだまだ理解されていきい方々もたくさんいるという「驚見耳」にします。こうした状況の中で、「ご支援園のことを知っている方々から、白山愛児園のことを知ってほしい」という要望もいただいています。地域の集まりにお伺いしたり、見学に来園していただきお話をせつてもらえる機会が増えきいてほしい

ともありがたく思っています。

併設しているはくさん児童家庭支援センターにおいても、微力ではありますが地域の子どもへ支援の役割を果たしていると思惑は違いますが、子育てしている同じ思いを共有しながらつながってける存在でありたいと思います。

今年の三月には、三名の子どもが家庭に戻ったり、高校を卒業して自立して巣立っていきました。先日、卒園生の一人からうれしき報告がありました。看護短大に進学して今年卒業予定の子です。が、看護師として就職先の内定をもらえたとのことでした。あとは、国家試験に合格し、夢が実現できるよう応援していきます。彼女の努力とともに、私も支え続けていく職員にも感謝しています。

愛児園のごもたちは、ごもたち同士で育ちあひ、たくさんの人に見守られながら成長してきています。まだまだ周囲の援助が必要としているごもたちですが、愛児園で生活し、この地域で育つて良かったと思ひ、感謝の気持ちをお返しに、今後ははじめご支援してくださる皆様には、今後ともお一層のご協力をお願いいたします。



施設長代理  
高木 聡仁

白山愛児園が開所して6年目になりました。開所した当初から地域の方々に支えられ、ごも達と共に歩んできた5年間でした。地域の映画大学で行われる

山納寮では「コー」のお店を出店させて頂いております。当初、実行委員会にも参加させて頂き、右も左もわからない中、実行委員の方が大変お世話になりました。用意した方が余らないかと売上数の心配もしてへたさり、売りましたと報告をさせて頂いた際には抱き合せて喜びました。白山愛児園が地域の皆様の中心になり湧かぬ入っていくことがこの時期に、温かく迎え入れてくださった経験として今でも鮮明に覚えています。その他にも「リッパ」お餅つき、商店会のお祭り、たけのこ堀り、お餅つき、駅立大会、ソフトボール大会にも参加させて頂き温かくごも達の育ちを支えてくださっていることに大変感謝しております。

最近、カブトムシが大好きなA君と王様寺ふるさと公園に昆虫採集に出かけます。カブトムシやクワガタがいる樹をよく知っていて毎日のように通っています。A君が虫を探しているとお歩や「カブトムシの卵か。」と話しかけてくれます。「あ、この枝にカブトムシの卵が4つある枝に1匹います。」とつらつら顔なじみのようです。「ここの卵。わかんないな。」とあそびながら、その「こ」年配の方の会話が終わると、小学生の虫取り少年達に話しかけられあれこれとツを教えてあげていきます。そんな光景を見て少し前までの自分を反省しました。ごも達にやていけなさい、人に迷惑をかけるなといことばかり教えたきたのではないかと、白山愛児園の中では良いごもに育つかもしれませんが社会に出たときに大変苦労しているごももいます。A君のように

に地域社会の中で年配の方からごも集団

の関わりの中で育まれられるものこそ

白山愛児園を卒園した後、社会に出て生きていく力になっていくのではないかと強く感じました。

「向かい風、受けるや嬉しい、こいのほり」と称し、お隣の特別養護老人ホーム「ムスル麻生」と白山愛児園の建物をロープで結びこいのほりを泳がせています。地域の皆様からもこいのほりのご寄付をいただき大変感謝しております。白山愛児園に上ってくる坂が、こいのほりの大群が泳いでいるかのようになるといふこと、そんなこいのほりを眺めながら「こいのほり、受けるや嬉しい、こいのほり」と向かい風、受けるや嬉しい、こいのほり、向かい風が吹けば吹くほどに意気揚々と泳ぐ、そんなエネルギーに溢れたごもを社会に送り出すべく、ごも達と職員、共に育ち合っていくおきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

白山愛児園 運営協議会 委員  
白山まちづくり協議会 事務局長  
伊東 紘 様

昨年、南青山で港区子ども家庭総合支援センターの建設が問題になり、建設に反対する住民の声が大きくなりました。それは①南青山の1等地になぜこのような施設をつくるのか ②施設の建設で青山のステータスも資産価値も下がる ③高学歴・高収入の者が住む土地にこの施設は相応しくない ④というものでした。この報道に、11年前白山愛児園を設置する際に川崎市が開いた地域住民との協議の場へ、全く同じセリフを聞き愕然とした

ことを思い出しました。

この人たちの無知から来る心配は分かるにしても、優越感と差別意識が顕著な人たちがどうしたらわかるともええかを考えなければなりません。

社会的要請の施設であることに彼らも異論はありませんでしたが、私たちの地域に何が必要なのか、私たち自身も納得するところが求められました。そこで私たちは児童養護の実態を知るために、立川市にある至誠学園を始め、児童養護の現場をいくつも見回り、更に実際に施設の運営に携わった人たちの話を聞き、入所児童の実態は私たちの子どもと殆ど差はなく、また社会的な養育で立派に育つことも、この体験から学びました。

川崎市との地域協議では「日本一の総合児童福祉施設をつくる」が合言葉になり、児童養護を始め児童家庭支援センターと地域交流の機能を併せ持つ施設が建設されたことでも、この地域の地力力を示せたことでもありました。

グリーンタウンはサラリーマンという階層が大半を占めていて、川崎市の他地域と比べると人間模様は比較的単色に近い地域です。様々な人間が居てはじめて地域の厚さが増すといわれ、白山愛児園を始めた、日本映画大学やムスル麻生など、新たな施設が建設されたこと、この地域の活性化にとって良いことでした。今では白山愛児園の子ともたちと地域住民の交流は定着し、愛児園は地域の高齢者を生き生きとさせる存在になり、私たちの方々に支えられ、ごも達と共に歩んできた5年間でした。地域の映画大学で行われる

ん。子どもは社会で育てるを肝に銘じて、子どもたちに元気を貰いながらこれからも努力を続けたいと思います。

## 吉田 清次 様

白山まちづくり協議会 事務局次長

白山愛児園との関わりは、たまたま、2011年に愛児園に隣接するにつき第一管理組合の理事長になった時に始まる。その時の大きな課題は、旧白山中学校の跡地に設置される施設への公道からの進入路をどう造るかという事と、児童福祉施設建設への住民の理解を得るという二つの案件であった。これは街区住民の住環境に影響する大きな問題と捉えられ様々な意見が出された。理解を得る解決するのに会議や住民説明会を開催し推進を図った。

進入路については財産権が絡む問題で住民の意識が高く、川崎市と交渉を重ねた結果、管理組合の意思を反映して、今の様な進入路を作ることで決着を図る事ができた。児童福祉施設については、地域協議の場を通じて住民の意見を反映させ、「児童養護施設」に加え、地域のために役立ち二つの機能「児童家庭支援センター」「地域交流スペース」を付加した総合福祉施設とすることで理解を得る事ができた。

さつき第一管理組合は毎年末に「餅つき」大会を開催、その際に愛児園の子どもたちを招待している。住民や街区の子どもたちも加わり一緒に餅つきを楽しんでいる。焼き芋、ビンゴゲームもある。満足した愛児園の子どもたちは職員と。

「ありがとうございますとお礼を言っている。そんな中で、一人の女の子が「おいしかったー」大きな声を発した。これに、準備、運営にも世話をしたきた周りの大人は感動した。その素直な一言が、皆の心を打ち和ませ元気づけた。毎回、愛児園から届けられる園児の感謝の言葉やうめられた色紙は、管理組合の集会所に掲示され、見る人の気持ちを明るくしている。

愛児園で育ちた社会に巣立って行く子どもたちにとって、是非とも白山で育てて良かったと思ってもらいたい。白山愛児園も工夫しながら年間計画をとり多様な行事を行い、思いつく、作り取り多様な行事。地域住民も、園児が楽しい事をたくさん経験して育って欲しいと願っている。新しいグリーンタウン各街区では、色々な行事・イベントに園児を招待して、参加した園児の楽しそうな姿や笑顔は、周りの大人を楽しく元気にしてくれている。愛児園も白山納涼祭や駅伝大会などの行事に積極的に参加して地域を盛り上げ、更に、「白山愛児園祭」を開催し地域住民も一緒に楽しむ場を提供して頂いている。

総合児童福祉施設として設置された白山愛児園は開設してから5年が経過する。地域に根付き連携しながら、三つの機能が有機的に繋がりが相乗効果を発揮しながら運営されている。この事は、先に厚生労働省の担当課長が、良好な運営が訪れている事例の視察として白山愛児園を訪れたことからも察しられる。行政、地域、学校、子どもたちに関連する組織で構成される白山愛児園運営協議会もより良い総合児童福祉施設として

発展するよう協力、支援している。白山愛児園が、これからも児童福祉施設の「トップランナー」を目指し歩み続けて行っ

## 志村 幸男 様

白山愛児園 運営協議会 委員  
琴平神社 宮司

白山愛児園が開所され、5年が経過し6年目を迎えているかと思えます。施設が順調に推移し子ども達が健やかに成長されている様子を見ますと、これもひとえに理事長を始め関係の皆様熱い思いと尽力の賜物とご拝察申し上げます。この施設の位置する所を、市の文化財にも指定を受けている江戸時代（一七二六年）の古地図で見ますと、山と谷の丘陵地帯で谷戸には民家があり、溜池からの水を利用して米を作り炭を焼き、この地が発祥の甘柿「禅寺丸柿」を生産生活を送り農村地帯です。

この地域が大きく変貌したのは、昭和二十年（終戦）以降産業の発達と共に柿生駅周辺の開発が進み、丘を削り谷を埋め大掛かりな宅地造成が始まり、住宅が次々と建てられました。そして王禅寺中学校、白山小学校や小学校、高等学校など数々の学校が開校しました。

しかし時代が進み変化する中、この地域にも少小化の波が打ち寄せ王禅寺・白山の中学校小学校は統合され、元王禅寺中学校と王禅寺小学校一部改装し小・中学校を結ぶ流線が建設されました。そして平成二〇年四月に、新たに王禅寺中央中学校、翌年は王禅寺中央小学校開校となった訳です。

私は元の王禅寺中学校で三年間PTAの会長をお受けし、その後は中学校区地域教育会議の議長をお受けした関係で、中学校の統合委員と統合後の学校跡地利用の協議委員を微力ですが受けさせて頂きました。学校の統合では、校長・校章・校歌・制服を協議し、校名を決める時がやや時間が掛かった感があります。跡地利用では、十二回程の協議を重ね市民から寄せられたハブリックコメントでは、多くのご意見が出ましたが、特養老人ホームに隣接した児童養護施設として利用する事に決定されました。そして愈々建設計画が進み、「白山愛児園」建設工事着工の運びとなりその工事の安全を願ひ王禅寺神社の宮司として地鎮祭を奉仕させて頂きました。順調に工事が進み自出度々平成二十六年四月に開所されました。これまでこの施設が他に誇れる様、心を二つに運営して来た皆様の気持ち、子ども達に伝わっている事と思えます。全国の児童養護施設を始め白山愛児園の子ども達が心豊かに成長されます様願います。



小学校2年生 女児作

# 新任職員のごあいけつ

今年度は9名の新任職員が仲間入りしました!



男子ユニット  
うの たくみ  
宇野 拓海

僕は、児童養護施設に良いイメージを持っていませんでした。入所していることも気難しいイメージがあり、働いている職員さんに関してはどのような支援を行っているのか想像すらできていませんでした。

専門2年生になり、児童養護施設でのボランティアに臨みました。実際にこともと関わってみると、こともたちは明るく元気で、職員さんとも仲が良く、実習生の僕に對しても気兼ねなく話し掛けてくれました。この経験で児童養護施設に対する僕のイメージは大きく変わったと思います。

ボランティアを通して、施設職員は多くの時間を子どもと共に過ごす為、見守るの距離が近く感じ、ことも成長を思い守ることが出来る仕事だと感じました。児童養護施設で働きたいと思ったきっかけになりました。

実際に働いてみて感じるのとは、やはり想像と違いとても大変だということです。今までは実習生やボランティアとして短い時間でしか、こともたちと関わっていませんでした。働いてみて、生活に入り込みながらこともと過ごしていると、こともが考えていることを理解できなかつたり、自分の対応が正しいのか不安になる事も多く、大変な仕事だなと感じます。早く慣れていきたいいなと思っています。



男子ユニット  
おおい まこと  
大井 まこと

私は、中学生の頃に見たニュースの特集で児童養護施設を知りました。私の周囲には、施設で育った子はおらず、その特集はとも興味深いものでした。その頃はまた小学校や幼稚園の先生になろうかな、と考えている程度でした。

進路を決める際、長年続けてきたガールスカウトの活動を活かせる仕事はないかと考えました。その時に、ニュースで見た児童養護施設が頭に浮かび、目指す事を決めました。それから必要な保育士資格を得る為に短大へ進学しました。在学中は様々な施設でボランティア活動を行いました。児童養護施設で学習ボランティアを行う中で、生活そのものを支える事が出来、長期にわたってこともを支援出来る仕事にやりがいを感じ、就職しました。

働いて5か月が経ちました。大変さは実習中に痛感し、よくわかっていました。腹が立つ事や、泣いてしまいう事もありますが、やはり本当に大変で毎日一杯です。

しかし先日、一度も私の名前を呼んでくれなかつたこともが、初めて「大井さん」と呼んでくれました。それだけで、大変だったことが吹き飛んでしまいうくらいとても嬉しく思い、これがやりがいなんだな、と実感しました。1日の変化は小さく、その変化も気付きにくいのですが、小さな変化を見つけた喜びを忘れずに大切にしていきたいと思っています。



男子ユニット  
おさび みき  
小澤 美希

私は幼稚園生の頃から保育士になりたいと思っていました。大学の進路を考えて行く中で、虐待事件等で報道されている子ども達が施設で生活しているのを知り、児童養護施設とはどのようなところであるのか、どのようなことも達が生活しているのかに興味を持ち、文献等で調べようになりました。父から、チケット代が出場している施設のことと達達の奨学金になるという、フリスジフォースマイルさんの、カナエール夢スピーチコンテスト、があることを教えてもらい、高校2年生の時に見に行きました。コンテストに出場していることも達の中には、涙を流しながら入所の経緯や夢についてスピーチしていることも聞いて、その姿・スピーチの内容に何度か心を打たれました。このことがきっかけで、施設で生活していることも達を支えられるような施設職員になりたいと考える様になりました。

実際に児童養護施設の職員になって働いてみて、自分のこともとの関わりはこれだ、この声掛けの言葉はあれでよかったのかと手探りながら毎日ことも達と関わっています。

自分の今の関わりが、後々こともたちの成長に繋がっていくのだと思うと、やはりこの仕事はやりがいのある仕事だなと感じています。これから先悩み事が増えていく

# 新任職員のごあいさつ

と思いますが、とことん悩んで、こどもと共に自分自身も成長していきたいです。



ショートユニット  
やまだ ゆうすけ  
山田 優介

僕がこの仕事に就こうと思った理由は母親とファミリーホームをやっていた親の影響。そして僕自身が児童養護施設の出身だからです。

僕は生まれてから2歳までの間乳児院で生活をし、そこから今の両親に引き取られ今に至るまで一緒に生活してきました。その22年間の中で僕自身に一番の影響を与えたのが両親です。何故自分の子でもないのでそこまで真剣になり面倒を見て、実子とホームの子を差別なく叱り、等しく愛情が注げるのか。そこに疑問を持っていました。一度、両親に「この仕事は楽しいの？」と聞いてみた時、「楽しいかはわからない、けどやりがいはあるよ」と言われ、とても興味が湧きました。その時に将来は児童養護施設の職員になろうと決めました。支えられていた立場から今度自分が支えていく立場になり、その中でうまく行かない事の方が多いと思います。しかし、自分なりに精一杯こどもたちと向き合っていきたいです。そして、こどもと一緒に成長できる職員になれる様に頑張っていきたいと思えます。



女子ユニット  
こいと しゅっぺい  
小糸 修平

私が児童養護施設で働きたいと思ったきっかけは、学校で受けた家庭支援論という授業です。私は保育士になるつもりで専門学校に入り、就職も保育園一本に絞っていました。しかし、二年生の時に家庭支援論の授業を受けた際、虐待や保護者のない児童が苦しんでいること、その児童を保護する施設があることを知りました。そして私は虐待を受けたり、保護者のない児童を生活の中で支援する、日々の生活を共に過ごす児童養護施設にとても魅力ややりがいを感じました。

三年生の時には虐待防止を研究するゼミにも入り、就職は児童養護施設を目標とするようになりました。

今現在、就職して5か月ほど経ちますが、こどもの心理や関わり方など分からないことが多く、自分の未熟さを痛感する毎日です。しかし、先ほど書いたように、日々の生活を共にすごす中で支援をすることにとてもやりがいを感じています。

今はまだまだ先輩職員の方々に頼りきりで、果たして適切な支援が出来るのかどうか、自信がありませんが、これから経験を積み、一日でも早く一人前の職員になれるように努力していきたいと思えます。



女子ユニット  
むらかみ あかほ  
村上 明香奈

私は自分の保育園の先生の事がとても大好きで、将来保育士になりたいと思っています。その為、保育士の資格を取る為に大学に進学しました。そして、大学2年の時に、実習で初めて児童養護施設に行きました。実際に児童養護施設に行ってみて、自分が思っていた施設のイメージとは全く違いました。2週間子どもと関わってみて、保育園とは違い、こどもが生活している場所なので時間の流れもゆったりとしていて、こども一人ひとりとゆっくり向き合えることが出来る施設の方が自分には向いているのではないかと感じました。

実際に、動き始めて約5ヶ月経ちましたが、上手いかない事はかりで、自分の未熟さを痛感していません。仕事のやり方、こどもの関わり方など反省や後悔の繰り返しです。先輩職員の方に助けていただきながら日々精一杯頑張っています。しかし、辛いことがかりではなす少すずつですが出来る事も増えて、楽しさを感じています。

こどもの関わりの中で、初めてこどもから学校の話をしてもらった、作ったご飯を美味いと言ってもらえた、以前は自分の言葉では聞いてくれなかった声掛けがこどもに届いた時等、毎日些細な事で喜びをかみしめています。そんな些細なことで、日々

# 新任職員のごあいけつ



女子ユニット

まちだ 藤 蘭

の辛さ、大変さが吹き飛び毎日頑張ることが出ています。まだまだですが、これから一人前の職員になれるように頑張ってくださいと思っています。

私が児童養護施設で働くこと思ったのは、通っていた専門学校での授業がきつかった。私は、小学生の頃から年下の児童と遊ぶことが大好きで、その頃から子ども関係の仕事が大好きだと考えようになり、保育士を目指し始めました。専門学校に入学し、様々な実習を経て、高齢者施設や障がい者施設にも興味を持ち始めました。進路に悩んでいた時に、学校の授業で「こども」の時にできた心の傷はこどものうちに治さなければ、将来生きづらさを感じる原因になる。ということや、子どもの時に愛される経験をすれば、周りの人を大切にでき、自分のことも大切にできる。ということを学びました。この時、ふと児童養護施設が思い浮かび、施設のことを精一杯愛し、心の傷を癒してあげたい、と思うようになりました。

そして現在、白山愛児園に就職し早くもらぐ月程が経ちました。就職前は、こ

どもたちと関係性が築けるか、とても不安な気持ちでした。しかし園でいざ子どもと対面すると、こどもたちの方から話しかけてくれ、私も自然と笑顔で話が出ていました。

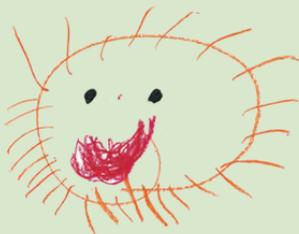
最初は、こどもたちとの接し方も手探りでした。先輩方をひたすら見て勉強していただきました。その中で、こども一人一人に合った関わり方があることを知り、全員に対して同じように接することが、必ずしも正解ではないということを知りました。その後は、一人一人に合った関わり方をするためにこどもたちの性格や特性を知ることができるよう、積極的にコミュニケーションを取りました。そのうち、自分自身でも少しずつこどもの気持ちを理解することが出来るようになりました。もちろん、まだまだ知らない所はたくさんあると思うので、今後もゆっくり信頼関係を築いていき、色々な一面を見て知っていきたいと思います。

働き始めて、こどもとの関わり以外でも難しいと思うことがたくさんありました。一番難しいと感じたのが、毎日の料理です。学生時代全く料理をしていなかったため、就職前からとても不安でした。少し練習はしましたが、こどもたちに提供する大切な料理ということもあり、とても緊張していました。現在でも、レシピを調べてノートに書き写し、それを見ながらなんとかユニットで料理を作っています。そのような状況でも頑張ることが出来るのは、やはりこどもたちの喜ぶ顔が見られるからだと思っています。こども

から今日のご飯美味しかったよと言われたり、たくさんおかわりしている姿を

見ると、「頑張って作ってよかったな」と心から思うことができます。また、最初は料理にとっても時間がかかり、洗濯物やその他の家事に手が回らなくなることもありましたが、少しずつ効率よく料理ができるようになり、その他の家事も行うことが出来るようになってきました。またレパートリーが少なかったり、たまに失敗してしまうこともあるので、毎日練習を重ね、こどもたちが喜ぶ料理をたくさん作ってあげたいと思います。

毎日大変なことや辛いことに直面しています。しかし、それ以上に楽しいことや嬉しいことがたくさんあることを、日々実感しています。こどもと何気ない話をしている時や、一緒に料理をしている時、毎日の挨拶など、小さな幸せがたくさんあります。その小さな幸せを今後も守っていけるように、環境の整備や一人一人とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思



らさい 男児作

# 新任職員のごあいけつ



女子ユニット  
やまね なつき  
山根 なつき

私は専門学校一年時ではまだ保育士になろうと考えていました。しかし、学校の授業で保育園以外の乳児院や児童養護施設などを知っていく中で、施設といっても様々な種類の施設があるという事を学ぶ機会が増えていきました。そんな時、学生時代の実習では保育園、障がい者施設そして白山愛児園にて学ばせていただく機会がありました。それぞれの施設の方針や、関わり方を間近で見て体験して感じた中で児童養護施設に惹かれました。こどもの生活や、卒園したときに困らないようにする為の支援を職員同士で話し合い、意見を出し合う姿を見て、「私もこの施設と一緒にこどもたちをサポートしたい!」と考え、入社を決めました。

実際に働いてみると、1年目の私と先輩職員に対する子どもへの態度に差を感じる事が多々あります。最初は特に子どもとの関係づくりはもちろん、業務の流れなども上手くいかず、不安になることもありました。しかし、先輩、同期の仲間に支えていただき、不安になることが少しずつ減ってきています。

こどもたちが様々な事情でこの場所に来たことを忘れず、こどもたちにとって一日

一日が少しいても良いものになるように、支援を出した時に困らないように、日常生活の中で必要なスキルやマナーなどを伝えていきたいと思えます。

課題はたくさんありますが、自分の気持ちを溜めてしまうことと、感情を吐き出しやすい職員になりたいと思っています。

こどもたちにとって、過ごしやすい環境を作るにはどうしたらいいのか日々考えながら、関係性を作っていきたいと思っています。



学習支援員  
ふじもり さない  
藤森 彩衣

私は初め教師を目指していましたが、学校以外にもこどもを支援する場所が沢山ある事を知り、その中でも一番近くてこどもの生活をサポートできるのが児童養護施設なのではないかと思いました。そこで自分が出来る事は何かと考えた時に、2年間小学校で特別支援級のボランティアをしていた経験を活かし、施設にいらるこどもたちを学習面でサポートしていきたいと思いを学習支援員として入社を決めました。

学習支援の対象児童は10人以上いる為、

全児童の特徴や学習状況を選択して行わなければなりません。毎日予定通りに進む事の方が少ないですが、何か一つでも出来る事が増えたり少しずつ成長していく姿を近く感じる事が出来るのはとても嬉しです。一人ひとりが出来る事は異なりますし、すぐに出来る様になるのは難しいですが少しでも「わかる」「出来る」を増やしてあげたいです。

私は学習や生活の場面で関わる事がありません。関わる中で感じる疑問も沢山ありますが、その一つ一つに意味がある事を学びました。間接職員だからこそ気付ける事もあると思うので頭から色々なアンテナを張って支援につなげたいと思っています。

また、ここにいるこどもたちが社会に出た時、孤立することなく自身の力で生きて行く為に地域や社会との関わりがとても大事だと実務を通して感じています。こどもたちにはもっと園の外に出て色々な姿を見たいです。その環境を作る為に、自分なりに努力してこどもと接する時間を増やしていければと思います。

自分自身も学びの姿勢を忘れずに、今自分出来る事は何かを考え行動に移していきたいと思えます。



らさい 男児作

# 園での生活

## 301ユニット



小学1年生から、中学2年生までの5人の女の子のお部屋です。  
お姉さんが年下の子の髪の毛を結んであげたり、小さな子たちの無邪気に年上の子が癒されたりと、日々支え合って生活しています。  
時には喧嘩をすることもありますが、その度にたくさん話をして、乗り換え方を学んでいます。  
毎日の挨拶や、「ありがとう」「ごめんね」の言葉を大切にし、思いやりあふれるユニットを目指します。

## 302ユニット



小学1年生から小学5年生の計5名が生活している、女の子のお部屋です。  
お洒落する事が好きなきな子、ゲームや読書が好きなきな子、個性豊かななをを、桜が綺麗な頃には「春を見つけに行こう」とみんなで探検っこをします。取り込んである布団を見つけると船に見立てて海賊っこをするのも！全員が揃ったときの発想力に、大人が驚く毎日で、誰かが落ち込んでいても、誰かが自然と励ましてくれます。  
一人一人が優しく元気いっぱいな、笑い声の絶えないユニットです。

## 303ユニット



現在、幼児1名、小学生4名の計5名で生活している女の子ユニットです。外では一輪車に乗ったり、砂場遊びをしたりと元気に遊ぶ姿が見られます。また、みんなぬいぐるみが大好きで、ユニットの中でぬいぐるみに囲まれて眠ったりする可愛らしい女の子たちです。  
年下のこともたちは「やってあげるよ！」とお手伝いをし、年下のこともはお姉さんたちの真似っこをすることでお互いに成長しています。  
優しく元気いっぱいな子どもたちの笑い声があふれるユニットです。

## 結（地域小規模）



地域の一軒家を借りて、3歳から18歳の、男の子3名・女の子3名で生活しています。お家らしさを大切に、地域の方から見守られながら、温かい雰囲気の中でこのびと成長しています。  
自分の時間も大切ですが、お庭でハーベキューをしたり、ボウリングやキャンプに行ったりと、皆で一緒に過ごす時間も笑い声が絶えず、楽しく過ごしています。  
部活動やアルバイト、習い事等、自分の好きな事・興味のある事を日々頑張っています。

# 白山愛児



小学2年生 愛児作



2011ユニット

ユニットの引越しもあり、毎日賑やかな男の子のユニットです。現在幼児3名・小学生1名・中学生2名の計6名が生活しています。幼児・小学生の好きな遊びは、ボール遊びや自転車・トレーニングバイク、ごっこ遊び、砂場遊び・・・。中学生は、虫捕りやゲームをして過ごしています。



2012ユニット

小学2年生から高校3年生までの6人の男の子のお部屋です。一緒にテレビゲームをして盛り上がりたり、年上児童が年下児童に玩具を貸してくれて仲良く遊んだり、といった姿が多く見られるユニットです。

ことも同士で喧嘩をしたすれ、職員とことも気持ちがつらぬき違ふ事もありますが、一つ一つの事をお互いが納得するまで話をし、解決していくことを大切にしています。感謝を忘れず、笑顔の溢れるユニットを目指しています。



ショートステイ

「ご家庭の理由により子育てが一時的に困難になった際にお子さんを短期間お預かりする、ショートステイ・テイスティのユニットです。様々なお子さんが利用する為、玩具や遊び場、食事や安全で安心して過ごせる環境等をそのお子さんに合わせてその都度用意し提供しています。

利用されるお子さんと保護者の方の状況やニーズを分かって、不安な気持ちを少しでも解消して利用されるよう努めています。

# 白山愛児園の行事

3月



## 卒業と進級を祝う会

卒業・卒園、入学・入園、退所することもたちの新たな門出をみんなで祝います。

9月



4月

## お花見パーベキュー

ポカポカお天気の中お花見パーベキューをします。お肉や果物を頬張りながら春の訪れを感じます。



10月



## 白山愛児園まつり

豚汁・焼きそば・綿あめなどの飲食や、似顔絵・プラ板・くじ引きなどの楽しめる出店がたくさん。また、和太鼓や楽器演奏などのすてきなイベントも!! HEAT-UP!! プロレスさんがプロレスを披露してくれました。

HEAT UP!!!

5月



## 市長さん 市社協会長さん来園

こどもの日に市長さんと市社協会長さんがすてきなプレゼントを持って来園して下さい、こどもたちの成長と一緒に祝います。

11月



6月



12月



## クリスマス会

各ユニットで出し物をします。飾りつけたお部屋でクリスマスケーキやチキンなどを食べて楽しく過ごします。

7月



## 七夕

地域の方にいただいた笹に願いをかざります。そして、いただいた竹で流しそうめんを行います。

## キャンプ

たくさんの自然の中で2泊3日のキャンプを行います。パーベキューや花火、釣りなどイベント盛りだくさんです。

1月



## そば打ち

園長先生のそば無しでは年は越せません! こどもたちも参加してそばを打ちます。

8月



## 初詣

1月1日に一年の感謝と今年一年の無事を願って、初詣に行きます。日本の文化を知る機会にもなります。



2月



## 節分

無病息災を願って恵方巻を食べ、豆まきをします。

鬼は外!!  
福は内!!

# 地域の行事

掲載しきれない程、地域のみなさまには様々な行事などを通して支えて頂いております。

たけのご掘り



AGS47さま  
アカシアグリーンサポート 47

お菓子づくり



特別介護老人ホーム  
ラスール麻生さま

ソフトボール大会



まちづくり協議会さま

夜市 (お祭り)



グリーンプラザ  
商店会さま

アカシア夏まつり



アカシア自治会さま

ラスール彩流祭



特別介護老人ホーム  
ラスール麻生さま

クリスマスツリー  
点灯式



けやき自治会さま

王禅寺東夏祭り



新百合ヶ丘自治会さま

焼き芋大会



けやき自治会さま

もちつき大会



白山一丁目  
第1管理組合さま

白山納涼祭



白山納涼祭  
実行委員さま

DCU祭



田園調布大学  
こども未来学校  
(望月ゼミ)さま

駅伝大会



新ゆりグリーンタウン  
連絡協議会さま

地域の行事などを通して、自治会・商店会など、たくさんのみなさまに支えられ、こどもたちはスクスク、のびのびと育っています。  
白山愛児園のこどもたちは、地域のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄さん、お姉さんが大好きです。いつも本当にありがとうございます。

# ～卒園生の言葉～

正部 憲太郎

# 羽ばたく わがば

僕は高校1年生の春に白山愛児園に入所しました。はじめは園での生活に不安を感じていました。しかし、友達や白山愛児園の職員が話を聞いてくれたので、3年間とても楽しい生活を送ることができました。

園での一番の思い出は1年に1回、2泊3日で行く夏のキャンプです。テントをたてたり、料理の仕込みをしたり、子どもと大人が一緒に汗を流すことになりながら一つのことに夢中で取り組んだ思い出は本当に貴重でした。もちろん遊びの時間もあり、海で素潜りをしたのですが、魚を初めて見て突いた時の感動はとても印象的でした。少し残虐な様ですが、僕はその経験のおかげで命の尊さや大切さを学ぶことができました。卒園して時間が経った今でも鮮明に思い出せる程ととても大切な思い出です。



話は変わり、僕は高校1年生の秋にアルバイトデビューをしました。園の近くのガソリンスタンドでした。アルバイト先の人達はとても優しく、親切に色々な事を教えてくれました。アルバイトでも僕の歓迎会を開いてくれたり、休みの日には野球を見に行ったりしていました。年末には食事まで、1年が無事に終わった事を皆で祝いました。

僕はアルバイトをする事で、色々な(個性豊かな)お客様が来店する中、どんな方に對しても丁寧な対応をしなければならぬという事や、サービス業とはこういうものなのだという事を知る事ができました。お金は働かなければ手に入らないし、夕夕ではもらえない。当たり前ですが、大切な事を学ばせて頂きました。また、自分自身が働く立場になった事で、園の職員達が毎日どれほど苦勞をしていたのか気付く事が出来たと思います。

白山愛児園で生活して3年が経ち、とうとう園

を出る日が来ました。高校を卒業し、春から姉夫婦の家で生活することになったのです。園を出てからの生活はアルバイトと変わりましたが、高校生から働いているアルバイトは続きました。ほしい車を買おうという目標があったからでした。その目標の為に、毎日のように働いていた為、友人と遊ぶ機会も減っていました。しかしバイト先の先輩達が遊びに連れて行ってくれたので、寂しい思いをする事もなく充実した毎日を送ることが出来ました。



18歳になり、ほしい車が見つかったので貯金してきたお金で車を買いましたが駐車場代やガソリン代車の保険にも入り、車を持つという事はとても大変な事だと知りました。しかし苦勞した分だけ特別な思い出もどんどん増えていきました。

色々なちゃんやをしていて僕もとうとう20歳になりました。いゆる大人の仲間入りをしました。大人になるという事は出来ることの幅が広がり楽しみが増える反面、責任が増えることでもありました。人生を見つめなおし、自分自身や周囲の人たちを大切にしようと改めて決意しました。また、真剣に将来のことを考えるようにもなりました。

卒園後も、白山愛児園にはよく遊びに行っていたのですが、園のことなど聞かなくなっていく中で、「保育士になりたい」という気持ちが生れました。自分の思いを高木さん(白山愛児園施設長代理)に相談すると色々話を聞いてくれました。そして保育園を紹介してもらい、ご縁がありその保育園で働くことになりました。僕は、ガソリンスタンドと保育園掛け持ちでアルバイトを始めました。保育園では掃除・洗濯をし、時間があれば子どもと遊びました。子ども達には中々言うことを聞いてくれ

ず、子どもと対峙することはこんなに変な事なのかと実感しました。同時に、自分の親や園の職員はこんな思いをしていたのかということに気付き、支えてくれた家族や園の職員のことをとても大切にしようと思いました。

忙しい毎を送っていたりしたなか、ガソリンスタンドが閉店するということになり、知り合いから紹介してもらった店へ異動することになりました。異動先の方々もとても親切で、出会いに恵まれているなと感じました。苦勞や悩みもありましたが、職場の仲間たちが話を聞いてくれたので乗り越えることが出来ました。

21歳になって、ありがたいことにガソリンスタンドの社員契約の話頂きました。保育士になる夢と、願ひ続けていた正社員という夢。天秤にかけることは出来ませんでした。しかし、将来のことを考え、正社員に早くなりたかった僕はガソリンスタンド正社員の道を選択しました。掛け持ちをしていた時より、当然給料が減りましたが今後もお金の使い方をしっかりと管理し、ほしいものがあっても計画を立てて使っていきたいと思っています。

この先、正社員として色々資格を取らなければいけません。僕は勉強が苦手ですが目の前の為にも会社の為に勉強をしつかり資格を取りたいと思っています。将来は、上の立場の人間になれるように精進していきます。

また、結婚もしたいので安定した収入を得られるように一日一日を大切に一生懸命働きます。そしていつかスーパーカーランボルギーニアウエントールに乗れるように頑張ります！

そして、僕がこんなに前に夢を語るのも、本気で此つてられて、話を聞いてくれて、時には多くを語り出す中を見せ、当たり前に、当たり前の生活をさせてくれた白山愛児園の職員さんたちのおかげです。

ありがとうございました。  
いつか親孝行できるような頑張ります。



# playground hope



プレイグラウンド・オブ・ホープさん、ヒルトンさん、ブラックストーン・グループジャパンさんが、白山愛児園の園庭に遊び場を作ってくださいました！  
80名のスタッフのみなさんが、遊具の設置、ベンチ、自転車スタンド、サッカーゴール、砂場を製作し、今まで屋外遊具の無かった園庭が素敵な遊び場に変身！完成後は、バーベキューまで用意していただき、最高の思い出になりました。

## Blackstone

## Hilton

### START !



遊具の資材を積んだトラックが到着！



### 下準備で 資材運び

みんなで資材運び！

園長先生も☆



ベンチ♪

タイヤを埋める準備！



フリンリ♪



サッカーゴール

いよいよ設置当日☆  
雨にも負けず、張り切ってミーティング！



資材運び完了☆

### 作業 スタート！

遊具のパーツ作り☆



砂場補修！



タイヤ埋め♪

### 完成！



サッカーもできちゃう！



登ってみよう！



### みんなで あそぼう☆



うんていも任せて☆

### もうすぐ 完成・・・



### GOAL !

どれにしよう♪  
おいそ〜☆

### 最後は BBQ !



チョコレト  
フランドン  
☆

ジュシュー！

### ありがとうございました！！

# はくさん児童家庭支援センター

平成26年4月にオープンした、こどもと家庭のための専門相談機関です。  
こどものこと・家庭のこと・何でもお気軽にご相談ください。



子育てや家庭での悩みを  
一緒に考えながら、  
専門のスタッフが解決の  
お手伝いをいたします。

☎044-712-4073

来所相談（事前に電話でご予約下さい）  
電話相談  
訪問相談

必要に応じて地域の関係機関と連携し、  
ご相談の内容に合わせて支援をいたします。

- 対象：18才までのお子さま
- スタッフ：社会福祉士・心理士 など
- 利用料金：ご相談は無料です
- 受付日時：平日(月～金) 9:00～17:00  
(祝日と年末年始はお休み)
- 主な担当区：多摩区・麻生区

## 子育て短期利用事業

ショートステイ（宿泊預かり）  
デイステイ（日中預かり）

対象：川崎市在住の2才～小学生のお子さん

料金：ショートステイ・デイステイのご利用は有料です。

※利用料はお問い合わせください。

利用方法：事前面談・申込みが必要となります。

☆ご希望の際にはお早めに、**まずはお電話でお問い合わせください。**

保護者の方が育児疲れ・病気・事故・入院などにより、  
子育てが一時的に困難になった場合に、一定期間  
お子さんをお預かりします。

※保護者・お子さんが感染症の場合など  
ご利用いただけない場合があります。

## 子育てサポート事業

○子育てスペース・ママン（毎月第1水曜日 10:00～12:00）

小さいお子さまと保護者の方のフリースペースです。

広いスペースで親子でゆっくり過ごしましょう。

育児に関してのちょっとした相談にも応じます。

料金：無料です。

○ミニ・ママン（毎週木曜日 10:00～13:00）

ママンのスペースの一部をご自由に遊んでいただけるようにしました！

おもちゃも用意してあります。気軽に遊びに来てください。

料金：無料です。

※飲み物（水またはお茶）をお持ちください。

講演会・講座なども行っています。

# 地域交流スペース

区内・当施設近隣で、主としてお子さまたちの育成に関わっている団体などに施設をお貸しいたします。

ご利用にあたっては事前に利用団体登録をしていただきます。

利用時間帯：9：00～18：00

お休み：夏期（お盆時期）

年末年始（1/29～1/3）

お問合せ：地域コーディネーター  
隈元まで

利用料金：無料

## 白山こども図書館

### ほんの森

～赤ちゃんからシニアまで本を読んだり遊んだり  
のんびり楽しめるにぎやか図書館です～

◎毎週火曜日

10：30～14：30

11：00～おはなし会・わらべうた

ほっこりカフェ

本の選び方相談など

◎第2、第4土曜日

13：00～16：00

14：00～おはなし会・わらべうた

ほっこりカフェ

なかよしクラブ（子ども活動）



## げきだん・ふしぎな卵

～芝居を作ってみませんか～

私たち、普通に働く個性豊かな若者と、働くのに少し疲れたシジ・ババの劇団です。  
稽古では、やりたいことをやるにはどうしたら良いか、研究しています。  
芝居作りだけで生きて来た、米倉日呂登が演出しています。

※詳細はお問い合わせください

米倉日呂登（マサカネ一座）

☎：044-852-3034

mail：theartpro@gmail.com

HPへアクセス  
できます→



## にこりん

～ハンディを持つこともと、そのママのためのサークルです～

月に1回、一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、情報交換したりしています。  
月に1回（日にちは月によって違います）集まっています。

先輩ママが保育ボランティアに入ることもあり、くつろげるひとときです。

活動場所や時間を変更することがあるので、事前にお問い合わせください！

※詳細はお問い合わせください  
にこりん (nikorin@ju.ciao.jp)



## ちゃちゃっダンス

～ベビー・キッズダンス体験＆お茶会サークル～

◎月・水・金曜日のうち月2回

◎対象者：生後3～24か月頃までの首のすわった赤ちゃんとその養育者の方

※詳細はお問い合わせください  
黒澤まりえ (kuromari.1223@gmail.com)



## 親子ヨガ

### パラマナダ・ヨガ

～健康と幸せを軸に一緒に楽しい  
コミュニティを作っていく仲間を  
いつでも歓迎しています～

お母様とお子様だけでなく、  
お父様の参加も多い親子ヨガですので  
ご家族で来てみてください。

◎日曜日 月1回  
9：15～10：00

◎対象年齢：年齢問いません。  
\*お子様幼児～中学生まで。  
(2歳まで無料。)



# 御寄付・御招待・ボランティア 御芳名帳（順不同）

- 阿部有加様
- 大草綾子様
- 小島様
- 土師美子様
- 原田利裕様
- 川本勝様
- 星野宏幸様
- 木村太郎様
- 木村兄子様
- 廣澤様
- 廣瀬直子様
- 齊藤達郎様
- 三浦たつき様
- 藤原由美子様
- 小野路子様
- 官澤輝男様
- 奥山玲子様
- 中島美明様
- 柴田玉子様
- 大森倫子様
- 坂本敏様
- 坂井マミ様
- 五十嵐隆一様
- 垣谷江里子様
- 滝澤夏子様
- 村井慶子様
- 岡田圭司様
- 秋葉晃介様
- 本間國美様
- 正本恵美子様
- 山ノ内依子様
- 今川理恵子様
- 中島久幸様
- 田中祐二様
- 井口幸洋様
- 川崎市長様
- 川崎市社会福祉協議会様
- 一般社団法人 白山まちづくり協議会様
- 麻生区商店街連合会様
- 新ゆりクリンズアザザ商店会様
- アカシア自治会様
- 新百合ヶ丘自治会様
- 有限会社 ソフトウエアデザイン 小島龍彦様
- 川崎労働者福祉協議会様
- 一般社団法人 神奈川県養豚協会様
- 白山ボテラ自治会様
- 株式会社 プレナス ほともちと様
- 株式会社 カレンス様
- 株式会社 カレンス様
- 公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団様
- くろふも（とも）様
- Maison Haut Patisserie・ボン・ボワ様
- カープス 麻生百合ヶ丘様
- あおば子どもミュージカル様
- 特別養護老人ホームラースール麻生様
- 新百合子どもミュージカル様
- Acadeli Green Supporter 様
- HEAT-UP PROMOTIONAL 田村和宏様
- 田園調布大学 こども未来学科 望月セシ、様
- 神奈川土建 一般労働組合 座間海老名支部様
- キャンマーケティングインジヤブ株式会社様
- 公益財団法人 スターダインサズ・パエ工団様
- 白山けやき自治会様
- 株式会社 あかもと本舗の、新百合様
- 株式会社 杉本カレンダー様
- 三菱せうトラップ・バス株式会社様
- 日本鏡餅組合様
- 神奈川県福利協会様
- NOF 法人日本チャリティ活動支援教団様

- 株式会社 デジタルライズ様
- 株式会社 スタジオクリップ様
- 英国ロイヤルパルティン様
- 一般社団法人 関東アイスクリーム協会様
- 株式会社 パソナキリアアカバニート様
- 株式会社 横浜銀行様
- 神奈川事業福祉協会様
- 新百合ヶ丘商店会様
- フジマルクラブ様
- 全国シマメリ協同組合様
- 株式会社 朝日ホーム様
- 株式会社 朝日ホーム様
- 新日本カレンダー株式会社様
- さつき第1自治会様
- 株式会社 エラ、クラミング様
- YaiYai様
- 王禅寺中央中学校区地域教育会議様
- 株式会社 ショカレレイ様
- 神奈川県社会福祉協議会様
- 一般社団法人 日本プロサッカーボール様
- ※平成30年4月1日～平成31年3月31日まで記載しております。以降は次にてご報告させていただきます。
- この他、匿名でも多くのご寄付を頂戴致しました。
- 日頃よりご支援・ご協力頂きまして誠にありがとうございます。
- お名前に誤字脱字等ございましたら、大変お手数ですが、ご二報・ご指摘ください。
- 今年も皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



野球観戦  
横浜銀行さま  
公益財団法人 韓知社会福祉事業団さま



サッカー観戦  
キャンマーケティング ジャパン株式会社さま



川崎市レシコン連盟さま



あそびの日に招待



キッズニアご招待  
キッズニアさま  
YaiYaiさま  
日産労働者組合 神奈川地協さま



裁縫教室  
クリスマスチャリティ公演



キッズニアご招待  
諸磯ヨットオーナースクラブさま



油壺マリンパークご招待  
油壺マリンパークさま



クリスマス会  
あかもと本舗さま  
神奈川土建 一般労働組合 座間海老名支部さま



工作教室



フロレス観戦  
白山愛児園まつり催し



HEAT UP フロレスさま

ご招待・ご寄付  
ボランティアなど  
いつもご支援いただき  
**ありがとうございます**  
ごさいます

掲載させていただいた団体さまの他にも、たくさんのご招待・ご寄付・ボランティア等でご支援いただいております。